

ホタテガイ養殖管理情報

水温の低い下層に沈め 安定させ動かさないでください

1 海況

海況自動観測ブイの15m層の半旬別平均水温の推移は図1、8月20日時点の陸奥湾中層(10~15m層)の日平均水温は図4(次ページ)のとおりで、平年よりやや高めからかなり高めの水温となっています。

2 養殖施設の管理について

ホタテガイ新貝および成貝は、20℃で成長が止まり、それ以降は中腸腺(ウロ)や貝柱の栄養を使って生命を維持しますが、水温が高くなるほど栄養の消費が激しくなり、最後は**栄養不足でへい死**します(図2、3)。

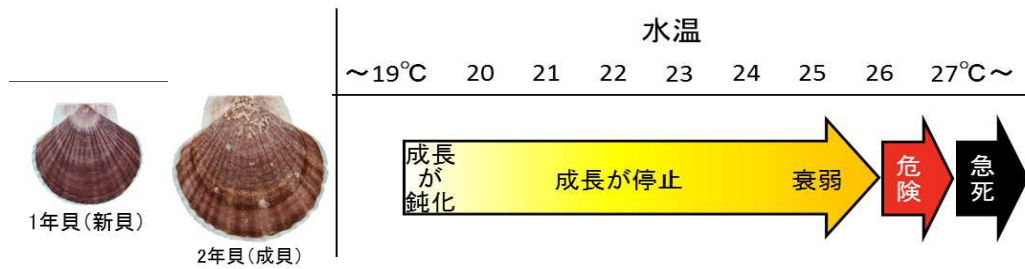


図2 新貝および成貝の成長と生残率に与える水温の影響

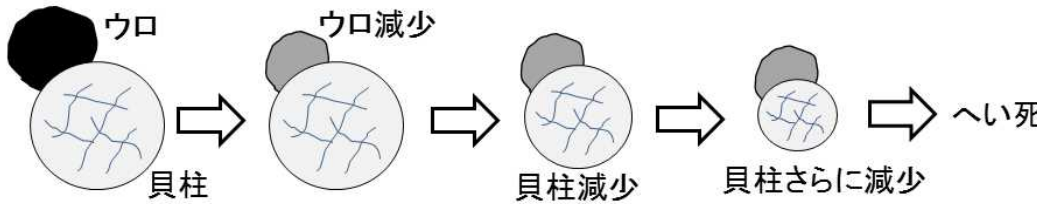


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

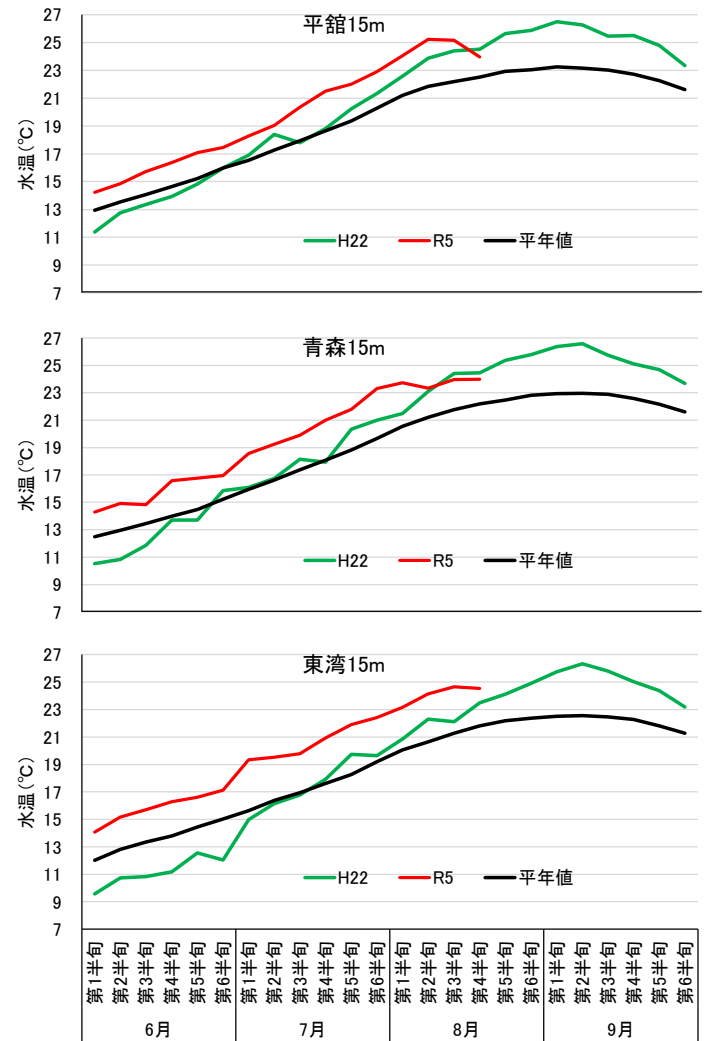


図1 海況自動観測ブイでの15m層の半旬別平均水温の推移 ※暫定値を含む

今夏の水温は、中層で平年よりもかなり早い7月中旬で20℃に達し、平年と比べかなり高めからはなはだ高めで推移し、30m層も平年よりも概ねはなはだ高めで推移しました(陸奥湾海況情報No. 1454~1458)。8月第4半旬に水温はやや低下したものの、依然平年よりも高く、平成22年並みの高水温となっています。

水温が高い状況が長く続いており、ホタテガイは既に疲弊している状態です。そのような疲弊した状況で**施設の上げ下げを行うと、へい死率や異常貝率が高まる**傾向がありますので、施設を**水温の低い下層に沈めたまま動かさない**でください。また、体力の消耗を抑えるために、**玉付け、掃除、へい死確認などの作業は行わない**でください。

稚貝も新貝よりは高水温に強いものの23℃以上で悪影響が出ます。新貝同様、高水温が続く疲弊していますので、水温の低い下層に沈め、安定させて動かさないでください。

3 今後の情報について

新貝の作業(掃除)に関する情報については9月上旬に、稚貝分散のための稚貝の状況や作業時の注意点については9月下旬~10月上旬にお知らせします。

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL：https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui_sougou/
ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード(①)
海ナビ@あもり 全モバイル端末共用QRコード(②)



①



②

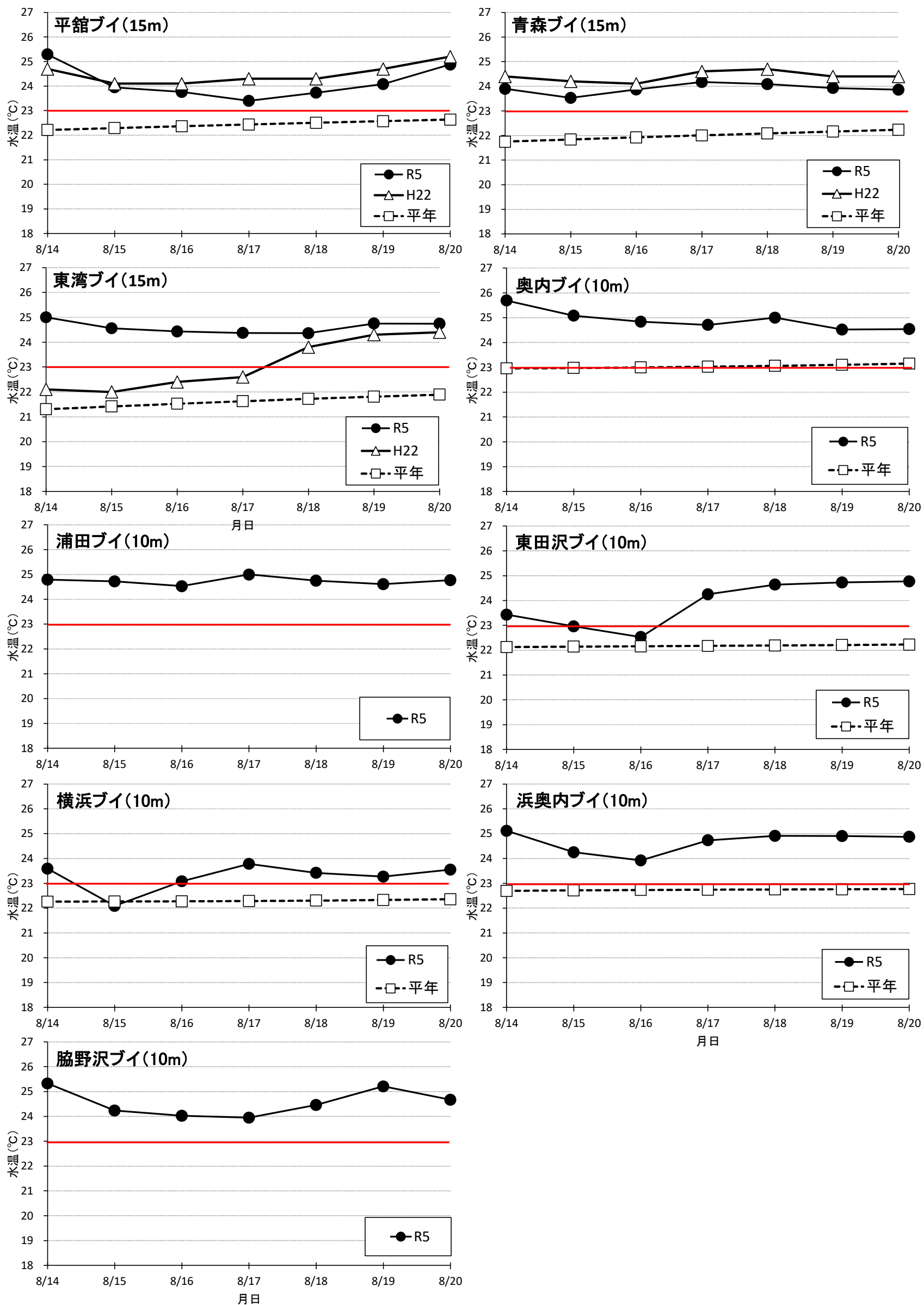


図4 海況自動観測ブイ・水温観測ブイでの中層(10~15m層)の日平均水温
 ※平館、青森、東湾ブイは平成22年の水温も掲載